

【令和5年度1学期の学校教育アンケートの結果から】

通学カバンの重量軽減について

→ これまでも保護者の方から問い合わせいただいている生徒用通学カバンの重量軽減への対応ですが、学校では年度当初に「学校に置いてよい物（教材・学用品）一覧」を作成し、生徒に配布しています。実際に、置いて帰って良いものを仕分けて、持ち帰りを少なくしている生徒も多いようです。しかし、生徒によっては、忘れものに対する不安や家庭学習への対応など、どうしても「持って帰りたい」「置いて帰れない」状況が発生しています。

また、1学期途中で生徒の背負っている通学カバンの平均的な重量（5教科の教科書・ノートを中心とした冊数）を測定したところ、5.7kgでした。教科書のページ数の増加や写真増加の影響、ファイルに綴じるプリントの増加など、今後も重量が増えることも考えられます。

学校として、今後できるだけ生徒の負担を軽減できるように置く場所や教科連絡の仕方などを工夫していきますが、家庭でも確認をしていただき、ご理解とご協力をお願いします。

なお、令和6年4月からの通学カバン購入業者の更新に合わせて、軽量カバンへの変更も現在検討しています。

学習支援について

→ 多くの保護者の方から、学習支援についての問合せをいただきました。「課題を増やしてほしい」「個別の支援をお願いしたい」などの意見が多いようです。

学校では「個別最適な学習」を進めるために、日頃から教科指導や授業改善を目的とした研修を行っています。また、思考力・判断力・表現力の育成にも努め、生徒のアウトプットを大切にした学習活動の取組も推進しています。

特別支援教育の観点からは、保護者・生徒の希望に応じて、特別支援教育支援員の配置をとおして積極的に支援を進めています。学習支援に関する心配や相談は学級担任や学年担当の職員など、遠慮なくご相談ください。

教育環境の整備について

→ 技術室や第二理科室など、空調設備の整備が遅れている教室があります。また、生徒数増に伴う増築工事も令和6年度から（令和5年度は設計まで）予定されています。教育環境の整備については、これまでも繰り返し市に要望してきておりますが、引き続き早期の整備について要望していきます。

制服等検討委員会について

→ 吉野東中学校では、社会の要請への対応や生徒・保護者のニーズに即した制服等の検討を進めようと準備をしています。現在の制服が令和4年度から令和6年度までの契約となっていること、業者の対応等の関係から、変更するとしても令和6年度からは難しい状況です。そのため、本年度中に制服等検討委員会を設置し、令和7年度からの制服について、生徒や保護者の意見を集約しながら検討を進めていきます。